

社会貢献活動(インターンシップ)の実施報告

(一社)札幌林業土木協会

活動内容

農業高校3年生を対象とした現地見学会を実施

- 1 実施年月日 : 平成30年7月30日(月)
- 2 実施場所 : 北海道石狩市国有林
会員企業が施工している治山、林道工事現場
- 3 参加人数 : 岩見沢農業高等学校(生徒13名、教諭2名)
北海道森林管理局4名、石狩森林管理署3名
- 4 活動内容 :

当協会では、4年連続で森林土木技術者の確保を目的に、岩見沢農業高等学校3年生を対象とした、治山工事・林道工事の現地見学会を開催しました。

昨年9月の大雨で被災した石狩市浜益区浜益の災害関連緊急治山工事箇所では、現場代理人や監督職員から「急傾斜地かつ狭い空間での工事のため、安全面に特段の注意をしている。また、施工中に軟弱地盤が出現し、新たに基礎工が必要となり、同僚や先輩、現場代理人とも、工法検討など協力して工事を進めている」との話がありました。

林道工事箇所では、生徒から「仕事のやりがい」と問われ、監督職員から「森林整備を進めるため林道の開設は不可欠との自負を持って仕事している」、現場代理人から「治山工事も林道工事も後生に残るもの、数年後に見て回るのが楽しみ」などの回答がありました。

見学会の終わりには、生徒を代表し「職場内の連携、建設会社との連携、安全対策など学ぶことができた。今後の進路選択に役立てたい」との謝辞がありました。

当協会では、林業土木工事に対する理解を深め、若手職員の確保に資するためにも、今後とも、このようなインターンシップ活動に協力していく考えです。

活動写真



石狩署牧野署長による説明



治山工事施工現場を見学



林道工事の説明を受ける生徒たち



生徒代表による謝辞